

平成24年度

ものづくり基盤技術の振興施策

第183回国会(常会)提出

コラム

「家族主義」を徹底し、外国人人材が活躍する会社・・・(株)メトロール

(株)メトロールは、工作機械や半導体製造装置に使われる「精密位置決めスイッチ」を世界で初めて開発したメーカーである。本製品は、繰り返し精度1/2,000mmの性能を有する機械式の精密位置決め用センサーであり、世界シェアはトップを誇る。光学式などの非接触センサーに比べて、繰り返し精度が高く、悪環境に強い、本製品は、機械の稼働率向上、生産ラインの自動化に大きく貢献。国内外の顧客からも高い評価を得ている。現在では海外60か国と取引をしており、中国、インド、台湾には販売拠点を展開している。

同社は、1998年に中国に海外販売拠点を置いて以来、現地での外国人人材の雇用を実施。採用に当たっては知識・経験といった技能面とともに、「日本文化が好きである」「ホスピタリティが高い」などのメンタリティを重視した。なぜなら同社は、外国人も日本人と同様、家族のように迎えること、すなわち「家族主義」をモットーとしているからだ。

定期的に外国人やパートを含めた全従業員参加のパーティを開催し、従業員間の交流を深めている。また日本と海外拠点間での人事交流や海外拠点における外国人人材の幹部登用など、人事面でも、外国人人材を活かす取り組みを積極的に実施している。

このような「家族主義」を徹底した経営によるメリットは大きい。ブログを活用して日本と海外拠点の従業員間の情報共有を活発にすることで、現地のニーズを素早く吸い上げ、製品開発のスピードアップを実現。さらに、現地に精通した外国人人材を幹部に登用し、決定権限を持たせることで、迅速な意思決定を可能としている。

同社は「運命共同体のパートナーという覚悟を持って仕事に臨めば、まず辞めることはない」と考える。徹底した「家族主義」が、日本人のみならず、外国人人材の活躍を促している。



写真：日本人従業員と外国人従業員で協力して展示会に出展